

令和5年度
学力向上推進員研修会【中学校部会】

徳島県学力ステップアップテストを
活用した学習指導について（国語）



令和5年度（4月）徳島県学力ステップアップテスト結果（中学校国語）

【中学1年生】平均正答率・領域別正答率（%）

| 全体正答率 | 知識・技能 | 話すこと 聞くこと | 書くこと | 読むこと |
|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 48.9 (6.6) | 60.6 (5.2) | 53.0 (4.7) | 41.1 (3.6) | 32.1 (15.6) |

（ ）は無答率

【中学2年生】平均正答率・領域別正答率（%）

| 全体正答率 | 知識・技能 | 話すこと 聞くこと | 書くこと | 読むこと |
|----------------|----------------|----------------|---------------|----------------|
| 49.8 (14.3) | 57.7 (13.4) | 46.1 (17.1) | 43.1 (8.5) | 31.6 (26.5) |

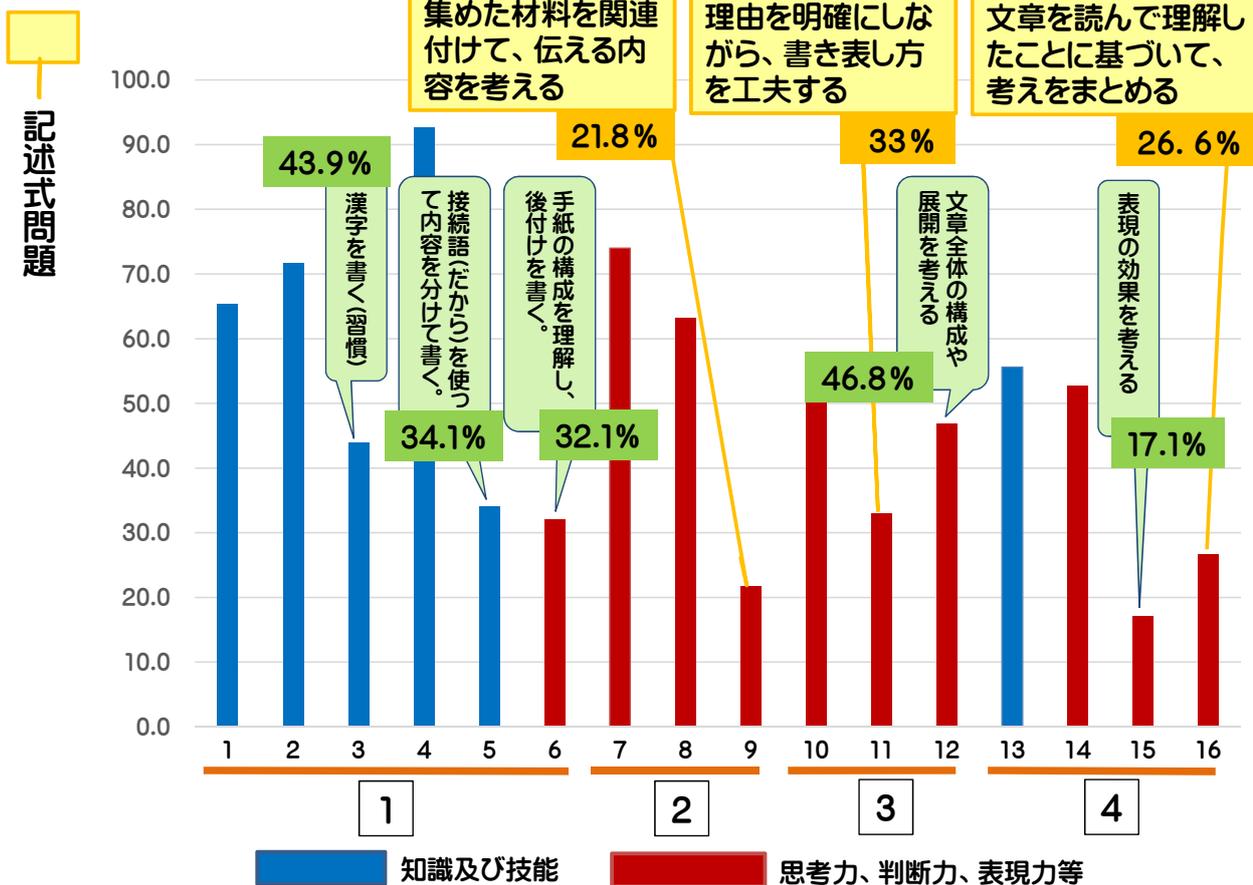
（ ）は無答率

令和5年度
中学校第1学年
国語

- 注意
- 1 「始め」の合図があるまで、冊子を開かないでください。
 - 2 先生の指示があつてから、組、出席番号、氏名を書いてください。
 - 3 問題は、1ページから13ページまであります。
 - 4 答えは、すべて解答题の所定の欄にはっきりと書いてください。

| 組 | 出席番号 | 氏名 |
|---|------|----|
| | | |

令和5年度 ステップアップテスト(設問別正答率) 中1



② 川口さんの学年では、徳島県のみりよへんについて調べ、グループプロジェクトでデジタル機器を使ってプレゼンテーションを行います。川口さんたちは、自分たちのプレゼンテーションの動画を動画に記録して確認するなど、発表会に向けて準備を進めています。次のプレゼンテーションの原稿を読んで、あとの問いに答えなさい。

ICTの活用

【プレゼンテーションの原稿】

みなさんは、徳島といえば、何を思い浮かべますか。「阿波おどり」や「あい染め」、「すだち」や「なると」など、徳島にも県外に知られる有名なものがたくさんありますが、私は、徳島のみりよへんのひととつに、豊かな自然がある自然について、少し考えてみます。

私たちのグループは、みなさんに「吉野川」についてしようかいたし、と思います。

吉野川は、別名「四国三郎」と呼ばれています。なぜ三郎と呼ぶのでしょうか。昔から大きな川を、地名と名前につけて呼ぶ慣習がありました。日本最大の川である利根川が「坂東太郎」と呼ばれています。太郎は長男です。ついでに九州の筑後川が「筑後次郎」と呼ばれる次男。そして四国の吉野川が「四国三郎」と呼ばれる三男なのです。川に共通するのは、それぞれ水が流れる水害を起こすことが多いということです。吉野川は、水害を起す一方で、ここに暮らす人々に、豊かな自然をあたえてきました。

みなさん、耳をすましてください。この音は、何でしょうか。これは、吉野川の源流の音です。吉野川の流れる高知県高岡郡、原住の森の中がスタートです。そこから、百九十四キロメートルにおよぶ流れが吉野川です。吉野川でも、川の流れは場所によって異なります。吉野川の風景がどのように変化しているのか、上流から下流に向かってみて、空や川の風景を楽しんでみましょう。では、いくつか吉野川の写真を、一からあらためて見たいと思います。ふたつ何気なく見ている吉野川ですが、あらためて見ると、一からあらためて見ると、さまざまな姿を見ることができます。二〇一七年には、三好市でラフティング（ゴムボートに乗り激流を下るアウトドアスポーツ）の世界選手権が開かれ、大いに盛り上がりを見せたという聞いています。それから、日本でも有数の広大な河口の景色は、吉野川の雄大な姿を表す代表的な景色の一つと聞いています。吉野川の河口には、大規模な砂防堤があり、野島や干潟の宝庫となつています。パドックや干潟観察などがさかんに行われ、砂防堤の種類に指定されているシャネキの姿を見ることがあります。写真の中には、橋が写っていました。徳島県内の吉野川水系は、昭和初期にかけられた「三好橋」「吉野川橋」に始まり、平成二十四年完成の「阿波しらさき大橋」

- 一 線部「つまり、二年に一本の割合でかけられていることになりす」とありますが、川口さんが、前の文に続けてこのように発言した理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
- 1 くり返し伝えることで、言葉のリズムをよくするため。
 - 2 くり返し伝えることで、正しいことを強調するため。
 - 3 言いかえて伝えることで、イメージしやすくするため。
 - 4 言いかえて伝えることで、足りない内容を補うため。
- 二 川口さんが、音を流したり写真の提示を行ったりした意図について、最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
- 1 聞き手が必要としている情報を示すことで、疑問を解決してもらうため。
 - 2 特に伝えたいことの要点をまとめて示すことで、聞き手の理解を助けるため。
 - 3 発表では話さない情報を示すことで、聞き手にあらたな興味をもってもらうため。
 - 4 話す内容に関連した情報を示すことで、聞き手をひきつけ関心を高めるため。

③ 目的や意図に応じて、集めた材料を関連付けて、伝える内容を考える。

正答率 21.8
無答率 13.0

プレゼンテーションのあと、質問コーナーがあります。川口さんは、~~~~線部について、「さまざまなかみには、どのようなかみがありますか。」という質問が出ると考え、吉野川のみりよへんに関する情報を集めて、カードにまとめました。【情報カード1】・【情報カード2】は、その一部です。あなたが川口さんなら、【情報カード1】・【情報カード2】をもとにどのようかみで答えられますか。あとの条件1・条件2・条件3に従って書きなさい。

- 条件1 吉野川が人々にめぐみをもたらしたといえるように、【情報カード1】・【情報カード2】を関連づけて書くこと。
- 条件2 実際に発表をしているような言葉づかいにすること。
- 条件3 「あいは、」に続けて、六十文字以上、七十五文字以内にもまとめて書くこと。

【情報カード1】

「四国三郎」吉野川といづくり
—デメリットをメリットに—
江戸時代、吉野川には防がなかったため、台風たびに大い水が起きてい害をあたえる一方、取かく後のあい煙に上流の肥えた土を流入させるというよい点もありました。また、あいは台風の前にか取りが終るため、阿波に適した作物でした。

（「あ文化テキストブック」より作成。）

【情報カード2】

吉野川流域では、毎年ように台風後にこう水が発生していた。
いっばん的には、あいは連作（同じ土地に同じ作物を毎年作ること）をきらい、一年おきでしか取かくできないが、吉野川流域では毎年取かくが可能であった。

（「あ文化テキストブック」より作成。）



条件1 吉野川が人々にめぐみをもたらしたといえるように、【情報カード1】・【情報カード2】を関連づけて書くこと。

条件2 実際に発表をしているような言葉づかいにすること。

条件3 「あいは、」に続けて、六十文字以上、七十五文字以内にもまとめて書くこと。

【情報カード1】

「四国三郎」吉野川とあいづくり
ーデメリットをメリットにー
江戸時代、吉野川には堤防がなかったため、台風のために大こう水が起きていました。こう水は、住民の生活に大きな被害をあたえる一方、収かく後のあい畑に上流の肥えた土を流入させるというよい点もありました。また、あいは台風の前にかかり取りが終わるため、阿波に適した作物でした。

(「あわ文化テキストブック」より作成。)

【情報カード2】

吉野川流域では、毎年のように台風後にこう水が発生していた。
いったん的には、あいは連作(同じ土地に同じ作物を毎年作ること)をきらい、一年おきでしか収かくできないが、吉野川流域では毎年収かくが可能であった。

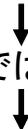
(「あわ文化テキストブック」より作成。)

答え (例)

(あいは、)同じ土地で毎年作るのは難しいですが、吉野川では台風のためにこう水が発生するので、それがあい畑に肥えた土を運び、毎年収かくすることができました。(七十二字)

あい

連作(同じ土地に同じ作物を毎年作ること)をきらう。一年おきでしか収かくできない。



吉野川流域では毎年収かくが可能。

吉野川

毎年のように台風後にこう水が発生。収かく後のあい畑に上流の肥えた土を流入させる。

吉野川のめぐみ

集めた材料を関連付ける

(二つの情報カードから、どのようなことが言えるのかを明確にする。)

③

岡さんの学級では、国語の時間に、気持ちよく学校生活を送るために、しっかりとあいさつを送る「こと」ができるように、自分の考えを学級の友達に主張する文章を書くことにしました。生活委員会が行ったあいさつに関するアンケートを参考に、岡さんは、「あいさつ」について自分の考えをまとめています。次は、岡さんが書いた「文章の下書き」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

3 岡さんの学級では、国語の時間に、気持ちよく学校生活を送るために、しっかりとあいさつを送る文章を書くことにしました。生活委員会が行ったあいさつに関するアンケートを参考に、岡さんは、「あいさつ」について自分の考えをまとめています。次は、岡さんが書いた「文章の下書き」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【文章の下書き】

あいさつでつながろう

みなさんは、毎日あいさつをしていますか。私は、だれもが気持ちよく学校生活を送るために、しっかりとあいさつを送ることが大切だと考えます。現在、生徒会や生活委員会で、「あいさつ運動」を行っています。小さい声であいさつを上げず、あいさつを多く見られるように、あいさつを返す人もいます。生徒会の三年生も、みんながあいさつを返す学校にしたいと話していました。私は、あいさつについて、みなさんに三つのことを提案したいと思います。一つ目は、大きな声であいさつをするということです。顔を合わせたとき、大きな声であいさつされるととても気持ちがいいです。今日は体がつかれているなと思っても、大きな声であいさつされると少し元気になれる気がします。二つ目は、自分も相手も元気になれるまほうの言葉だと思えます。先日の生活委員会によるアンケート結果から、あいさつをしてくれた返すあいさつをする人は少ないということが分かりました。なぜ自分からあいさつをしないかという理由で一番多かったのは、「あいさつを返してくれないから」というものでした。あいさつが返ってこない、いやな気持ちになるので、あいさつを返さなければいいかと思ってしまう人もいます。三つ目は、相手に思いが伝わるあいさつをするということです。アンケート結果から、学校であいさつをしていると答えた人数に対して、あいさつができる学校だと思う人は少ないことが分かりました。このことから、あいさつをしているのに相手に伝わっていない可能性があるのではないかと思います。せつかくあいさつをするのだから、相手に思いが伝わるようにしたいものです。そこで、私は、相手の顔を見て笑顔であいさつをしたいと思います。名前の分かる相手なら、名前を呼んでからあいさつをするというのでもいいかもしれません。

昔から、あいさつは大切にされてきました。礼に始まり、礼に終わるという言葉もあります。礼を重んじるという文化を尊重し、敬意を示す態度を表しています。けん道や柔道など、武道の世界ではよく使われる言葉です。私は、気持ちよく一日のスタートをきるために、そして周りの人たちとよりよい人間関係を築くために、しっかりとあいさつをしたいと思います。

- 1 岡さんが、三つ目の提案を書くために、根拠として用いたアンケートの項目はどれですか。適切なものを、次の1から6までの中から二つ選びなさい。
- 2 毎日、学校であいさつをしていますか。
- 3 あいさつをするとき、心地よくなりますか。
- 4 あいさつができる学校だと思いますか。
- 5 「あいさつ運動」を知っていますか。
- 6 毎日、家庭であいさつをしていますか。

③ 二 目的や意図に応じて、理由を明確にしながらい、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。

正答率 33.0
無答率 11.5

岡さんは、——線部の「あいさつをしてくれたときにあいさつを返すので十分だ」と考える人を説得するために、アンケートの【あいさつに関するエピソード】を用いて、【文章の下書き】の~~~~線部をくわしく書き直そうとしていきます。あなたが岡さんなら、どのように書きまですか。あとの条件1・条件2・条件3に従って書きなさい。

条件1 「あいさつをしてくれたときにあいさつを返すので十分だ」という考えに対して、異なる意見とその理由を書くこと。

条件2 【あいさつに関するエピソード】から言葉や文を取り上げて書くこと。

条件3 七十文字以上、九十文字以内で書くこと。

二 岡さんは、——線部の「あいさつをしてくれたときにあいさつを返すので十分だ」と考える人を説得するために、アンケートの【あいさつに関するエピソード】を用いて、【文章の下書き】の~~~~線部をくわしく書き直そうとしていきます。あなたが岡さんなら、どのように書きまですか。あとの条件1・条件2・条件3に従って書きなさい。

【あいさつに関するエピソード】

私は、自分からあいさつをするのは苦手でした。でも、ある日、あいさつをしてくれた相手に返すだけでは、人間関係が広がらな気がしてきました。あいさつを自分からするようになり、あまり話したことがない人となることができました。また、いろいろな世代の人と関わるきっかけにもなり、自分の世界が広がっていくのを感じています。

条件1 「あいさつをしてくれたときにあいさつを返すので十分だ」という考えに対して、異なる意見とその理由を書くこと。

条件2 【あいさつに関するエピソード】から言葉や文を取り上げて書くこと。

条件3 七十文字以上、九十文字以内で書くこと。

三 安全委員の山下さんは、「自転車で通学する人の交通安全について自分の考えをまとめていきます。岡さんの文章を読んだ山下さんは、自分も岡さんと同じ構成で書くことになりました。次の1から7までの一文は、山下さんが考えた段落の書き出しです。どのような段落の順序となるか、次の1から7までを並べかえなさい。

- 1 最後は、いったん停止をするということです。
- 2 最近、交通ルールを守っていない人を見かけます。
- 3 次に、たてに一列に並んで通行することです。
- 4 みなさんは、交通ルールを守っていますか。
- 5 私は、次のことを提案します。
- 6 まず、ヘルメットをきちんとかぶるということです。
- 7 私は、自分のためにも周りのためにも交通ルールを守ります。

~~~~線部「しかし、私は、進んで自分からあいさつをしたほうがよいと思います。」

「あいさつをしてくれたときにあいさつを返すので十分だ」という考えに対して、

異なる意見

進んで自分からあいさつをする。

その理由

(あいさつを自分からするようになり、)

- ・あまり話したことがない人となることができた。
- ・いろいろな世代の人と関わるきっかけになった。

読み手を説得するためにくわしく書き直す。

【あいさつに関するエピソード】  
私は、自分からあいさつをするのは苦手でした。でも、ある日、あいさつをしてくれた相手に返すだけでは、人間関係が広がらないと気がきました。あいさつを自分からするようになり、あまり話したことがない人となることができました。また、いろいろな世代の人と関わるきっかけにもなり、自分の世界が広がっていくのを感じています。

答え (例)

しかし、自分からあいさつすることで、あまり話したことがない人やいろいろな世代の人ともつながることが出来ます。だから、私は、進んで自分からあいさつをしたほうがよいと思います。  
(八十六字)

4月20日

[Blank box for writing]

作品名 「ト短調の子守歌」 作者 赤川 次郎

☆感想

走るのがゆううつな麻子の気持ちがよく表れている表現だ。「たった八十メートルしかないのだ。」という表現から、実際のきよりはそう長くはないと思っていることが分かる。走るのが苦手な麻子の気持ちがきよりを長く感じさせているのだ。ゆううつだと書かなくても、気持ちが表れているこのような表現を使ってみたいと思った。

答え 八十メートルの空間が、とてつもなく遠く長く見える。

たった八十メートルしかない。



とてつもなく遠く長く見える。  
(走るのが苦手だから、遠く長く感じる。)  
暗示性の高い表現

日常的な指導

正答率 17.1  
無答率 16.4

④三 表現の効果を考える。

青木さんは、心に残る言葉や気になる言葉に出合ったら、自分の表現に生かせるように、「言葉の手帳」に書き留めるようにしています。次の、「言葉の手帳」の【 】にどの言葉を書き留めたのかを、感想を参考にして、【本の一部】から一文でめき出して書きなさい。

正答率 26.6  
無答率 28.4

④四 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。

青木さんは、スピーチに向けて、知美の麻子への関わり方について、自分の考えをまとめています。あなたが青木さんなら、どのように書きますか。次の条件1・条件2に従って書きなさい。

- 条件1 【本の一部】から、知美の行動を取り上げ、知美の行動についてあなたの考えを具体的に書くこと。
- 条件2 六十字以上、八十字以内で書くこと。

答え (例) 知美が麻子のためにわざと転んだのは、麻子を大切に思っているからだと思う。麻子を少しでも元気づけようとする知美は、麻子にとってかけがえのない友達だと思った。  
(七十七字)

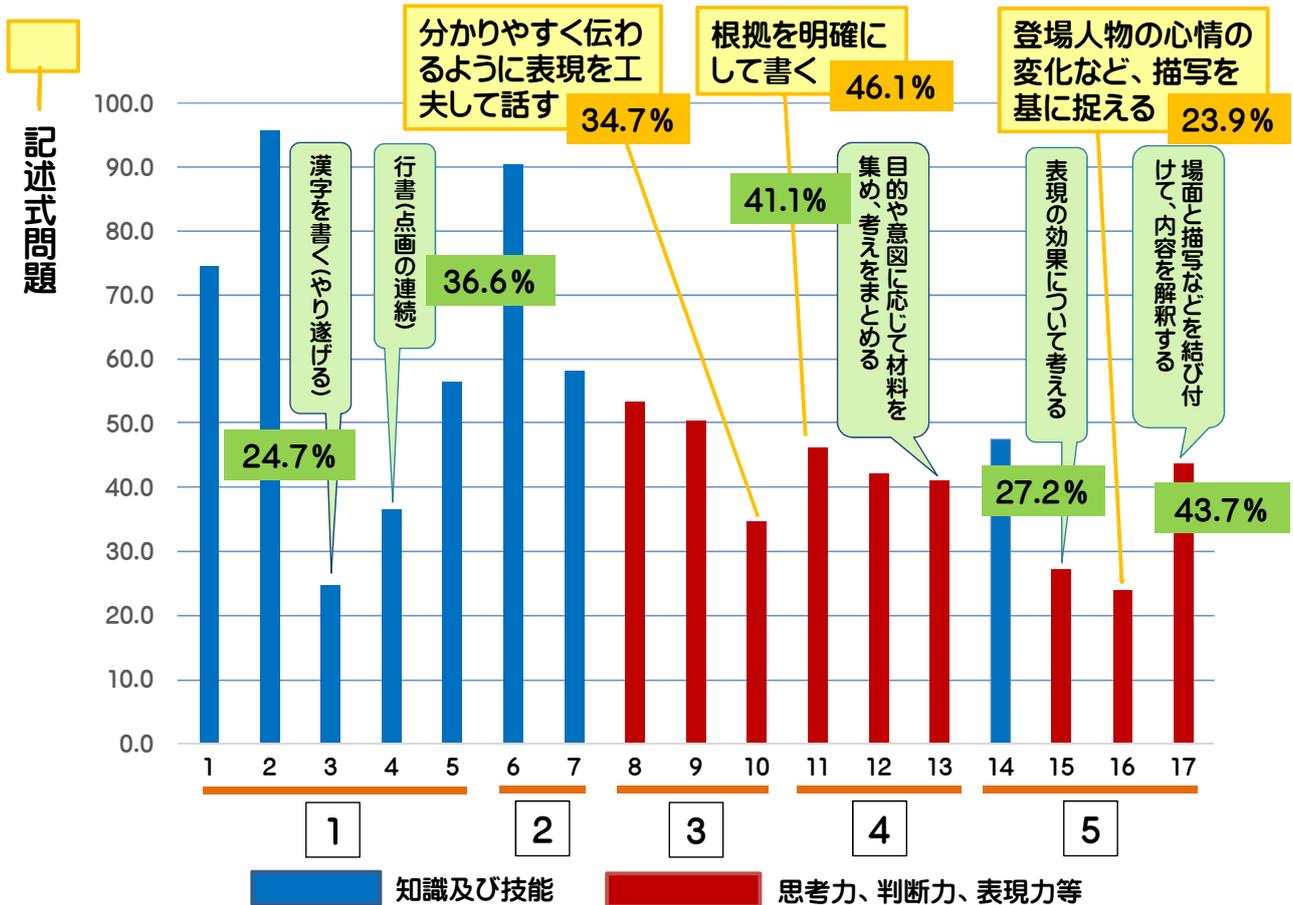
複数の叙述を基に行動や気持ちを捉えることができるように指導する。その際に、「どこからそう思ったのか」など、捉えたことこの基になる叙述を明らかにすること。

令和5年度  
中学校第2学年  
国語

- 注意
- 1 「始め」の合図があるまで、冊子を開かないでください。
  - 2 先生の指示があつてから、組・出席番号、氏名を書いてください。
  - 3 問題は、1ページから12ページまであります。
  - 4 答えは、すべて解答用紙の所定の欄にはっきりと書いてください。

| 組 | 出席番号 | 氏名 |
|---|------|----|
|   |      |    |

令和5年度 ステップアップテスト(設問別正答率) 中2



③ 大島さんは、国語の時間に、「今一番好きなこと」についてスピーチをする学習に取り組んでいます。大島さんは、**動画に自分のスピーチを記録し、川口さんと青木さんに見せて、助言をもらっています。**次の「大島さんのスピーチ」と三人の会話の一部を読んで、あとの問いに答えなさい。

3 大島さんは、国語の時間に、「今一番好きなこと」についてスピーチをする学習に取り組んでいます。大島さんは動画に自分のスピーチを記録し、川口さんと青木さんに見せて助言をもらっています。次の「大島さんのスピーチ」と三人の会話の一部を読んで、あとの問いに答えなさい。

**ICTの活用**

**交流する場面**

音楽は、人を元気づけたり勇気づけたりするものだと思いませんか。私が今一番好きなことは楽器を演奏することです。私は音楽部に入っていて、放課後は毎日練習を頑張っています。部員の心がひとつになって、美しい演奏ができるときは、達成感がいっぱいになります。聞いている人が、自然と笑顔になれるような、そんな音楽を演奏したいと思っています。

私が音楽部に入ろうと思ったのは、小学校六年生のときです。姉の中学校の文化祭を見に行ったときに、舞台上で音楽部の人たちが演奏しているのを見て、かっこいいなと感じました。演奏している人と聞いている人が一体となっていると感じられたら、絶対に音楽部に入ろうと心に決めていました。

（動画を止める）

中学校に入塾して、私は速うことなく音楽部に入りました。ところが最初のころは全音が出ず、美しいはずの部活動にいくのが苦痛になってきました。周りが上手になつていくのを見ると、だんだんと不安が大きくなり、部活動を辞めようかと悩んだこともありました。

でも、そんなときにいつも心の支えになっていた友人がいました。先生や先輩は、なかなか上手に演奏できない私に、いろいろなことを教えてくれました。温かく接してくれる人たちののおかげで、私は少しずつ上達することができました。

初めての夏のコンクールでは、演奏が始まるまでの間、楽器を持つ手が震えていました。でも、いざ演奏が始まると、思っていたよりも落ち着いて演奏できました。この日までの練習を、仲間と共に一生懸命頑張ってきたからだと思います。仲間の存在は本当にありがたいです。入賞したと分かったときは、自然と涙が出ました。仲間と肩を担ぎ合って喜んだのを今でもはっきりと覚えています。

秋の文化祭では、たくさんの観客の前で演奏することができました。文化祭の感想に、「音楽部の人たちの演奏がよくかったです。迫力のある演奏にとっても感動しました。」と書いてくれて、大島さんに、とてもうれしかったです。音楽は、人に感動を与え、人を元気づけたり勇気づけたりするものだと思っています。自分が演奏を聞いて感動した場所を、今度は演奏する立場で、いろいろなことを物々感じました。

（動画を止める）

今は、とにかく演奏することが楽しくて、楽しくて仕方ありません。今のこの気持ちを忘れず、練習に取り組むたいと思います。これからも皆さんの心に、心を動かす美しい音楽を届けたいと思います。

（動画を止める）

川口 大島さんが伝えたい内容が分かりました。ただ、スピーチの冒頭から同じ調子で話しているのが、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などの話し方を工夫してみてはどうでしょうか。例えば、「聞いている人が、自然と笑顔になれるような、そんな音楽を演奏したい」と思っています。という部分は、大島さんが伝えたい内容だと思うので、声を大きくするとういのではないのでしょうか。

大島 なるほど。他の部分も話し方を工夫してみます。

③ ③ 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す。

|     |      |
|-----|------|
| 正答率 | 34.7 |
| 無答率 | 34.1 |

【三人の会話の一部】に——線部③「他の部分も話し方を工夫してみます。」とありますが、あなたが大島さんならどの部分をどのように工夫して話しますか。次の条件1・条件2・条件3に従って書きなさい。

- 条件1 「大島さんのスピーチ」のどの部分をどのように工夫して話すのかについて、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに着目して具体的に書くこと。
- 条件2 条件1のように話す意図(どうしてそのように工夫するのか)を書くこと。
- 条件3 六十文字以上、七十五文字以内で書くこと。

答え (例) 「音楽は、人に感動を与えることができるため、ためて思いました。」という部分が一番伝えたいことなので、他の部分よりも大きな声で話す。  
(六十五字)

自分の考えを聞き手に分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立ち、どのような工夫が効果的なのか考え、工夫して話すことができるようにすることが必要。

④ 岡さんは、国語の時間に、「環境問題」というテーマについて、国語の時間に、「環境問題」というテーマについて、**意見文を書いています。**次は、「岡さんの意見文の下書き」と友達が集めた【資料1】・【資料2】の**コメント**を受けて集めた【資料1】・【資料2】です。「**わからず**」を**読んで**、**あとの問いに答え**なさい。

4 岡さんは、国語の時間に、「環境問題」というテーマについて、意見文を書いています。次は、【岡さんの意見文の下書き】と友達が集めた【コメントの一部】、岡さんがコメントを受けて集めた【資料1】・【資料2】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【岡さんの意見文の下書き】

令和2年7月からレジ袋の有料化が義務づけられた。私は、それまであたりまえのようにもっていたレジ袋が有料化されると聞いたときは、正直驚いた。家族も最初は、マイバックを持つのは面倒だと思っていたようだ。しかし、出かけるときにマイバックを持参することを意識していると、それがいつのまにか習慣になり、今ではそれがあたりまえになっている。レジで並んでいると、多くの人がマイバックを持参していることが分かる。みんなが意識すれば、社会のさまざまな問題は、少しずつ解決されていくのではないだろうか。

ところで、皆さんは、なぜレジ袋の有料化が進められたのかを知っているだろうか。それは、プラスチックごみを減らすためである。プラスチックごみによる海の環境汚染は世界的な問題になっており、この問題を解決するためには、レジ袋の削減以外にも意識しなければならないことがある。

そこで、私は、丸山中学校の皆さんにも、一人一人がプラスチックごみを減らすことを意識してほしいと考えている。では、具体的に、レジ袋の削減以外で、どのようなことに取り組みればよいのだろうか。

① 私たちが便利さを求めた結果、海の環境汚染が起きている。プラスチックごみを減らすために、私たちにできることを少しずつ行動に移していこう。私たちの手で解決していかなくてはならないのである。

【コメントの一部】

小林 「この問題を解決するためには、**① レジ袋の削減以外にも意識しなければならないことがある。」**と考えたのはどうしてなのか、理由を書いた方がよいと思います。理由を書く**と、そのあとの具体例が生き**てくるのではないのでしょうか。

竹内 「**② 私たちが便利さを求めた結果、海の環境汚染が起きている。」**に続けて、今後どんな問題に発展していくかなど、環境汚染自分の問題と思えるような情報を伝えてはどうでしょうか。そうすれば、岡さんの考えが伝わりやすいように思います。

交流する場面

ICTの活用

文書作成ソフトを使って書く。

④ 1 自分の考えが伝わる文章になるように、**根拠を明確にして書く。**

正答率 46.1  
無答率 14.2

岡さんは、小林さんからの【コメントの一部】を踏まえて、——線部①「この問題を解決するためには、**レジ袋の削減以外にも意識しなければならないことがある。**」の**すぐ**あとに、「このように述べた**根拠**を書き加えることになりました。あなたが岡さんなら、どのよう**に**書きますか。次の条件1・条件2に従って書きなさい。

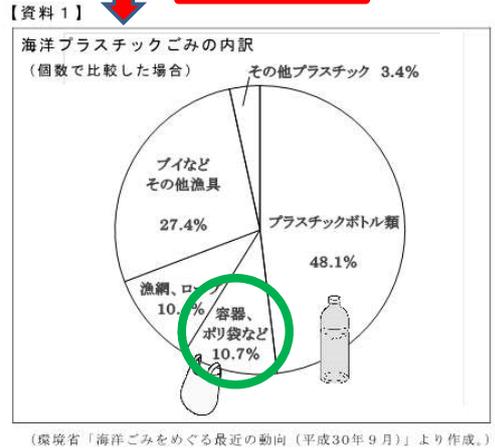
条件1 【資料1】から分かることを書くこと。  
条件2 「なぜなら、」に続けて書き、五十文字以上、六十五文字以内で書くこと。

【コメントの一部】

小林 「この問題を解決するためには、**① レジ袋の削減以外にも意識しなければならないことがある。」**と考えたのはどうしてなのか、理由を書いた方がよいと思います。理由を書く**と、そのあとの具体例が生き**てくるのではないのでしょうか。

コメントを受けて資料を集める

ICTの活用



答え (例) (なぜなら、)海洋プラスチックごみの内訳を見る**と、レジ袋が全体に占める割合は、約十パーセントにすぎないことが分かるからだ。** (五十四字)

④ 三 目的や意図に応じて材料を集め、自分の考えをまとめる。

正答率 41.1  
無答率 8.7

岡山さんは、竹内さんからの【コメントの一部】を踏まえて、——線部③「私たちが便利さを求めた結果、海の環境汚染が起きている。」のあとに、今後どのような問題に発展していくおそれがあるかについて、書き加えることにしました。あなたが岡山さんなら、【資料2】からどの情報を引用して書き加えるか、適切な一文を探して初めの五字を書きなさい。

答え 世界経済フ

竹内  
「私たちが便利さを求めた結果、海の環境汚染が起きている。」に続けて、今後どんな問題に発展していくかなど、環境汚染を自分の問題と考えるような情報を伝えてはどうでしょうか。そうすれば、岡山さんの考えが伝わりやすいように思います。

コメントを受けて資料を集める

【資料2】

日本では、2018年の夏、神奈川県鎌倉市の浜辺に打ち上げられたクジラの赤ちゃんの胃の中からプラスチックごみが出てきました。クジラは海に漂流するビニール袋をエサと間違えて食べてしまいます。しかし、ビニール袋は消化されないため、クジラの胃の中がビニール袋でいっぱいになり、魚などのエサが食べられなくなって死んでしまったと考えられます。

なぜ、海の生き物がプラスチックを食べてしまうのでしょうか。それは、私たちが使ったプラスチックのごみが、大量に海に流れ出てしまっているからです。プラスチックは自然分解されないため、ずっと海に残ります。世界経済フォーラムの報告書によると、今後も海に流れ込むプラスチックごみが増えれば、2050年には海のプラスチックごみは魚の量を上回ると予測されています。

容器包装から家庭用品やおもちゃまで、日常生活のあらゆる場所で利用されているプラスチック。便利な一方で、ポイ捨てなど不適切に処分されたプラスチックごみが大量に海に流れ出て、海の環境を汚し、海の生き物にも悪影響を及ぼしています。海のプラスチックごみを減らすために、私たち一人一人のプラスチックとの賢い付き合い方が問われています。

(「政府広報オンライン(令和元年5月)」より作成。)

意見文を書く際、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にすることが大切。自分の思いや考えを繰り返すだけでなく、**根拠を文章の中に記述する必要がある**ことを理解して書くことが重要。

⑤ 二 表現の効果について考える。

正答率 27.2  
無答率 25.3

青木さんは、一年生のときから、心に残る言葉や気になる言葉に出合ったら、自分の表現に生かせるように、「言葉の手帳」に書き留めるようにしています。次の、「言葉の手帳」の□にどの言葉を書き留めたのかを、感想を参考にして、【本の一部】から一文で抜き出して書きなさい。

【言葉の手帳】

4月20日



書名 「ふたりのつむぎ唄」 著者名 今江 祥智

☆感想

一瞬どんな様子が描かれた文なのだろうかと思ったが、とても印象的な表現だと思った。麦わら帽子に入っているカモメとそれを抱えているマキの距離がとても近いことが分かる。直接的な表現を使わず、距離の近さを意識させることができる、上手な表現だと思った。泣きそうなのをこらえるマキの姿も想像できる。

○カモメとマキの距離が近い。  
直接的な表現を使わず、距離の近さを意識させる。

↓  
「小さなひとみ」 カモメの目  
「自分の小麦色の顔」 マキの顔  
(カモメのひとみにマキの顔が映る＝距離が近い)

○泣きそうなのをこらえる＝べそをかく

答え 小さなひとみの中のみに映る自分の小麦色の顔が、くしゃんとゆがんでべそをかいていた。



## 令和5年度 ステップアップテストの結果・分析から



### 課題

#### ○「知識及び技能」

漢字を書く「習慣」(同音異義語)(中1)  
接続語(だから)を使って内容を分けて書く(中1)  
手紙の構成を理解し、後付けを書く(中1)

漢字を書く「やり遂げる」(中2)  
行書の特徴(点画の連続)を理解して書く(中2)

## 令和5年度 ステップアップテストの結果・分析から



### 課題

#### ○「思考力、判断力、表現力等」

集めた材料を関連付けて、伝える内容を考える(中1)  
理由を明確にしなが、書き表し方を工夫する(中1)  
文章全体の構成や展開を考える(中1)  
表現の効果を考える(中1)(中2)  
文章を読んで理解したことに基づいて、考えをまとめる(中1)  
分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す(中2)  
根拠を明確にして書く(中2)  
目的や意図に応じて材料を集め、考えをまとめる(中2)  
登場人物の心情の変化など、描写を基に捉える(中2)  
場面と描写などを結び付けて、内容を解釈する(中2)

### 授業改善の例

- ・記述力を高めるために、自分の思いや考えを「書く」場面を増やす。
- ・文章を正確に読み取らせるために、問題提起の部分や重要な部分などをアンダーラインや丸で囲ませる。

「各教科等における『令和5年度の重点』より

## 学力向上のための授業改善



### 目指す子供の姿

- 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、適切に使うことができる。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に関する活動において、目的や意図に応じて、必要な情報を選び、他者と伝え合うことを通して、自分の思いや考えを明確にしたり、深めたりして、表現することができる。
- 課題解決に向けて活動に粘り強く取り組むなかで、言葉を通じて人と関わり、言葉がもつよさを認識しようとしたり、言葉をよりよく使おうとしたりしている。

「国語科における『令和5年度の重点』」より

## 学力向上のための授業改善



### 目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

- ①育成を目指す資質・能力を明確にし、実施状況を評価して改善を図りながら、生徒一人一人に最適な学びを重ねていく場の設定
- ◇振り返りやアンケート、学力調査等を活用して**生徒一人一人のつまずきを捉え**、螺旋的・反復的に繰り返しながら、資質・能力の定着を図る。
- ◇**教科等横断的な学習の充実**を図るとともに、他教科等の取組の成果を国語科の取組に生かす。

「国語科における『令和5年度の重点』」より

## 学力向上のための授業改善



### 目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

- ②「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を関連させ、言語活動を通して資質・能力を育成する単元の構想と展開
- ◇目標と言語活動の設定の工夫、学習の手引きや多様なモデルの提示等を通し、他者と協働して、生徒が言葉による見方・考え方を働かせながら、主体的に学習を進める過程を設定する。
- ◇語彙の量と質の充実を図るために、読書活動の推進や実生活に関連した言語活動を取り入れるなどして、語句を蓄積することや蓄積した語句を意図的に使うことに、継続的に取り組む。
- ◇前学年や小学校での既習事項を活用する場面を設定する。

「国語科における『令和5年度の重点』」より

## 学力向上のための授業改善



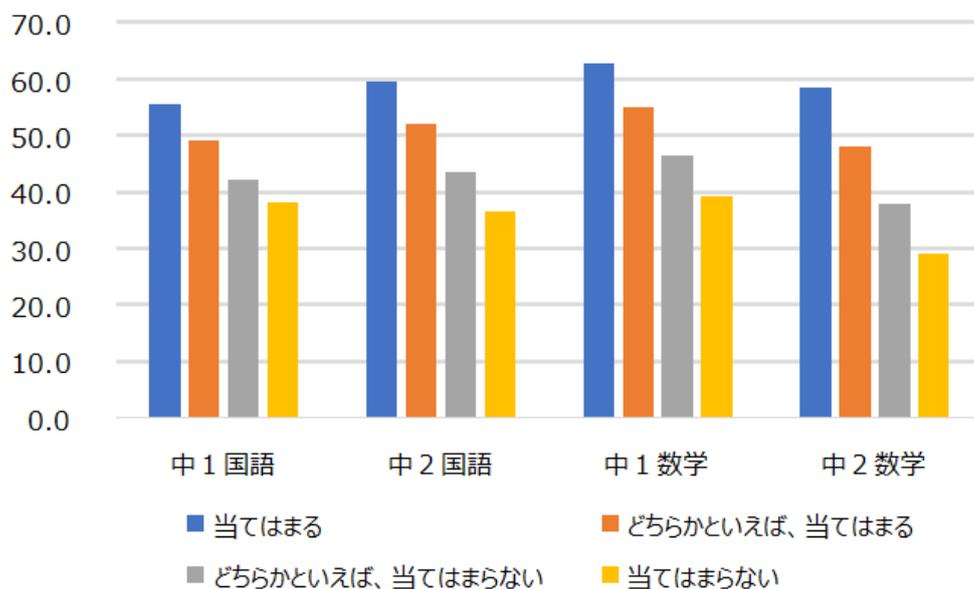
### 目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

- ③身に付けた資質・能力や学習内容をICT活用等により自覚化を図る指導の充実
- ◇多様な学習の記録（ノート、成果物、映像等電子データ）が生まれるように工夫をする。
- ◇「書くこと」を通して振り返りをさせるとともに、ICTの利用等により共有して学びを深めさせる。

「国語科における『令和5年度の重点』」より

## 学習の見通し・振り返りについてのアンケート結果 「生徒質問紙」より

(13)学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。(中学校1年生は小学校の授業も含む。)



## 学習の見通し・振り返りについて



### 【見通し】のポイント

「何を学ぶのか」「なぜ学ぶのか」「どのように学ぶのか」を、生徒が理解することが大切

※ **授業の始めには、めあてを提示し、問題解決への意欲を高めよう。**

### 【振り返り】のポイント

- ・自己評価(生徒自身の言葉で記述)
- ・「見通し」と対に

※ **授業(単元)の終わりには、めあてに対応した振り返りの時間を確保しよう。**

生徒の「振り返り」を吟味し、**教師自身の指導を振り返り、次時の指導に生かそう。** → **「指導と評価の一体化」**

学力向上に向けた授業力の改善・充実を図るためには、「見通し・振り返り」活動が大変有効である！

## 学校全体で取り組む学力向上



- ・生徒の実態把握 (PDCAサイクルの実践)
- ・学力向上実行プランの周知徹底
- ・授業実践の情報交換
  - 同一教科での交流
  - 他教科との交流
  - ベテラン、中堅、若手など、キャリアを超えた交流

